



パラグライダークラブ

LET'S FLY IN THE SKY

経済学部経済学科三年

川崎 文寛

パラグライダーって何？ そんな言葉が聞こえて来そうだが、そんな言葉をよそに、僕等の活動は、日々行われている。パラグライダーとは一言で言えば大空を飛ぶ一手段にすぎない。しかし、パラグライダーによって誰

でも簡単に空を飛ぶ事が可能なのだ!!(高所恐怖症の人にはちょっと無理かな)現に、部員数は男十人、女十人で女の子の方が多い。パラグライダーを知らない人のためにも説

明を加えておくと、パラグライダーとは、ハングライダーとパラシュートのあいの子みたいなもので、もちろん山から地上に向かって飛ぶ物である。ハングライダー程スピードが無い分操縦が楽であり、空を飛ぶからと言っても危険性は低い、その点で女の子でも飛べるのである。

具体的に活動内容というと、車で東千田から一時間、西条から四十五分行った所に僕等のエリアはひらける。神の倉山という名の山からパラグライダーを身に付け飛び立つのである。長期の休みには、合宿もこなす。僕等が目指すは、より長く、より高く、より遠くへ飛ぶ事であり、つまり空の小旅行と言っても過言ではないのである。

自動車部

車社会の Handbook

総合科学部総合科学科二年

大野 貴志

自動車部は東千田キャンパス南門横の一角、古い車の何台も並んでいるところにある。私達の基本には、まず安全運転がある。学科教本に従って、車や人の流れの中でいかにスムーズな運転をすることができるかということにはじまる。免許の有無にかかわらず整備はできる。車

の仕組みを知ることにはじまり、日常の故障や車検は自分でできるようになり、競技車をつくることもできるようになる。

何といっても最大の魅力は競技にある。土や砂の上でのダートトライアル、舗装面でのジムカーナ、道と時間の正確さを競うラリー、微妙な車両感覚と操作の必要なフィギュアの四つを行っている。危険が伴うものもあるが技術と精神で乗り越えることから楽しさが生まれてくる。

平成五年度は東千田と西条の両方での活動となり、問題を抱えることとなるが、これも克服していかなければならない。

今の車社会において安全運転を考え、実践してきているが、今後は環境、エネルギー、動力性能、デザインなどの観点からも車を見ていくことが課題となりそうだ。

